

第2期都筑区地域福祉保健計画※1を推進する地域の取組や、
関連情報を紹介する計画情報紙です。
第3号は「障害児・者支援」特集!!

つづき あい 通信

第3号



みんなで
収穫したよ!

～「障害児・者支援」特集～

横浜市の身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、精神保健福祉手帳所持者はいずれも増加しており、都筑区でも同様の傾向にあります。障害のある人の多くは、将来に対して「高齢になったときの健康や体力」「十分な収入」とともに「災害時の安全確保」「介助してくれる人がいるか」「働く場」が不安だと考えている人が多いです。

都筑区では、障害のある人も安心して暮らせる地域づくりのため、**後見的支援制度**※2や多機能型拠点の整備など「将来にわたるあんしん施策」等を進めているほか、地域や地域の団体も様々な障害者支援の取組を行っています。

今回は、地域や団体が取り組んでいる、地域と障害児・者のつながりづくりや支えあいについての取組をご紹介します。



都筑区マスコットキャラクター
「つづき あい」

※1、※2については、8ページに詳細を説明しています

障害児・者団体と地域が連携した取組



障害者と地域住民がつながるために ～中川小学校障害者参加防災訓練～



会議を重ねる中でお互いの理解が深まる

平成24年2月12日(日)、中川小学校地域防災拠点で障害者参加の防災訓練が行われました。

訓練を実施するにあたり7月から会議と準備を重ねました。当初は地域の方から「障害者とこれまで接したことがなく不安だ。」という声もありましたが、都筑区障害児・者福祉団体連絡協議会(障連協)の役員も毎回会議に参加する中で次第にお互いの理解が深まり、地域の方から車いすの取扱を学びたいという声が上がったため、事前研修を行いました。

また、自立支援協議会※1の中で平成23年度から活動が始まったグループホーム部会で災害時への対応が話し合われていたことから、中川小学校周辺の身体障害、知的障害のグループホームの障害者が訓練に参加することになりました。



階段では、車いすを介助者4人で持ち上げました

多くの人が参加し充実した訓練に



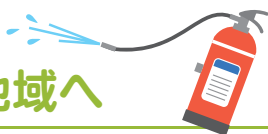
訓練当日は寒いながらも晴天に恵まれ、地域住民や障連協のメンバー、5か所のグループホームの障害者ら216人が参加しました。

今回は東日本大震災後初の訓練となるので、より実際に即した訓練を行いました。障害者と地域の方達が一緒に、一時(いつか)避難場所※2であるひめりんご公園から小学校まで移動しながら、要援護者の移動支援と車いすの取扱訓練を行いました。地域の方も車いすに乗り、介助されながら移動しました。小学校移動後に行われた消火器や発電機の訓練などにはグループホームの障害者達も積極的に参加しました。



障害者も積極的に訓練に参加しました

災害時にともに支えあう地域へ



グループホームの参加者から「訓練はやっぱり大切だと思いました。障害があってもできることはお手伝いしたいです。」という声や、障連協のメンバーからは「障害者はこういう機会が少なく、体験ができたことはとても良かった。」という声がありました。また、地域住民からも「車いすやAEDを実際に体験でき、いざという時の助け合いに備えて役に立ちました。」という意見もあり、災害時に地域住民と障害者が支えあうために、手応えを感じた訓練となりました。



協力して消火器を扱いました

※1 自立支援協議会… 相談事業や地域の課題を共有し、障害者支援が向上することを目的に取組を進めるための障害者自立支援法に基づく会議。区役所高齢・障害支援課、地域活動ホーム、特別支援学校、障害児者連絡協議会、地域活動支援センター等のメンバーで構成されている。

※2 一時避難場所… 災害時に、身の安全を第一に守るために避難する一時的な避難場所。地域の住民が集まって次の行動に移るための参集場所としての役割も果たす。町内会・自治会や班、隣近所、家族など、住民の任意で場所(近くの学校や公園等)を決める。

都筑ハーベストの取組



畑がつくる精神障害者との交流 ～都筑ハーベストの会のコミュニティガーデン～



農と自然で心元気に 一畑を核に活動を続ける都筑ハーベスト

都筑ハーベストの会が運営する地域活動支援センター※「都筑ハーベスト」は、「農を通じ自然、土と触れ合うことで、現代人が失いかけている、人間が本来持っている力が自然とのふれあいの中から与えられ、心の健康の回復に繋がるのではないか」との考えをもとに、平成15年に開所し、農作業を中心とした精神障害者の支援を行っています。季節ごとに異なる野菜やその日の天気や寒暖をきっかけに、障害者とスタッフの会話が始まり、作業を通した一体感が生まれています。四季を体感でき、汗を流せる畑はリハビリの場にもなっています。

また、池辺町の畑で地域のひとと一緒に紅あずま(サツマイモ)を栽培し、鹿児島蔵元に送って都筑ブランドの焼酎をつくる「紅あずまプロジェクト」を行ったり、味噌づくり教室、センター南駅や区役所での販売をするなど、地域の人も楽しく参加できる取組を広げています。

誰にでも関わりやすい 畑の作業で交流が広がります



もっと身近なところに交流の場を持ちたい。平成21年度から都筑ハーベストの会は茅ヶ崎東四丁目に畑を借り、「コミュニティガーデン」として、より多くの人との交流の場にすることにしました。

畑での作業は、子どもから高齢者まで、それぞれにやれること、楽しむことができ、だれにも参加しやすい活動です。畑を訪れるのは、近くに住む親子を中心に、友達同士やグループで訪れる子どももいます。子どもたちにとって、食べられる野菜を育てている畑は大きな魅力ですが、一番人気なのは「虫取り!」。障害者が子どもたちに畑作業を教えたりすることで、交流の場になっています。



子どもたちと一緒に作業します

畑から活動が広がり、 いろいろな活動と連携しています



平成23年度からは、ミニヨコハマシティ(19歳以下の子どもたちがつくる「子どものまち」)メンバーも参加してくれました。「ミニヨコで畑をやりたい!」という子どもたちの声と、都筑ハーベストの会のコミュニティガーデンが繋がったことで、たくさん子どもたちが畑にやってきました。都筑ハーベストではスタッフと利用する障害者とで、どうしたら子どもたちに楽しんでもらえるか相談したそうです。「お菓子を用意したら?」といった意見も出ましたが、そのまま畑でみんな一緒に作業することにしました。

畑は、誰にでも関わりやすい懐の深さがあります。都筑ハーベストの会の畑は様々な活動とつながるきっかけとなっています。



みんなで草取りをしました



用意したハンモックで遊びます

※ 地域活動支援センター… 障害者自立支援法によって定められた、障害によって働くことが困難な障害者の日中の活動をサポートする福祉施設。

地域活動支援センターの取組



精神障害者が、地域で楽しく生活をしていける場づくりを目指して



地域に開かれた、地域活動支援センター

「マローンおばさんの部屋」は、精神障害者をサポートする地域活動支援センターです。施設の利用者が制作した商品を販売したり、コミュニティカフェの運営を行っています。障害者の作業所としてだけでなく、平成21年度には「つづき あい基金」助成金を活用し、地域の方が参加できる絵本の製作や読み聞かせなど地域との交流を進めてきました。また、平成22年度から女性のグループ「ママズ カフェ ミリミリ」が主催するサロンも月1回行われ、子育て世代を中心に、地域の方の居場所となっています。



子育て世代を中心に、高齢者や一人での利用もある、和やかなコミュニティカフェ

子どもたちが、障害者と周辺店舗をつなぐ「レッツゴー仲町台さんぽ」の発行

「レッツゴー仲町台さんぽ」は、「マローンおばさんの部屋」代表の岩永さんの知り合いの小学生2人が、仲町台の周辺店舗を独自に取材・編集・製本を行っているフリーペーパーです。様々な仕事を紹介することで、障害者にいろいろな仕事を知ってもらえたらという思いから、「マローンおばさんの部屋」の支援を得て、平成23年1月に創刊。障害者が店舗で働くことをイメージしてパン屋など12店舗を取材し、第5号まで発行。「マローンおばさんの部屋」と店舗のつながりを広げています。



レッツゴー仲町台さんぽ

障害者の新しい就労ができる仕組みづくりの試み「いのちの木」

「マローンおばさんの部屋」で製本などの基本的な技術を学んだ障害者の中には、さらにステップアップしたいと考える人も出てきました。精神障害者は働くことができても一般企業で求められる納期・品質・ニーズなどに応えられず、辞めてしまうことも多い中、代表の岩永さんは、障害者が楽しく仕事をして生活できる仕組みづくりを行いたいと考えていました。

そこで、地域の高齢者や職人・アーティストから高度な技術を伝えてもらい、一般企業や市場に通用するものづくりの場をつくらうと、「横浜市セーフティーネット推進モデル事業」の補助金を活用し、平成23年度末に新施設「いのちの木」を立ち上げました。傾聴講座の開催などを通じて集まった有償ボランティアの高齢者や、職人・アーティストから、「マローンおばさんの部屋」で訓練を受けた障害者が中心となり、新しい就労への第一歩として技術を学んでいます。

今後は、北欧の生活スタイルを提案するワークショップ&カフェや「思い出スクラップブック」の製作、革細工、アーティストとのコラボレーション企画「スローレーベル」などを進めていき、ボランティアの高齢者は生きがいや社会貢献の場を、障害者はステップアップをできる場をつくっていきます。



▲ボランティアの高齢者から、編み物の技術を伝授してもらいました



◀思い出スクラップブック

思い出を綴り、今後の希望を探したり、人との心の交流ツールにしてもらいます

身近な地域で、お互いが支えあえる地域づくりをめざして、「つづき あい フォーラム」を2部構成で開催。第1部は基調講演、第2部は5つの地域の取組、パネルディスカッション、音楽を通して地域との交流をもつ小学生の合唱発表。若い子育て世代から高齢者世代まで300人の参加がありました。

参加者からは、「各地域の工夫した取組が今後の参考になった」「子どもが合唱に参加するのをきっかけにフォーラムを聞くことができた」「子どもの澄んだやわらかい声がとても良かった」等の感想があり、フォーラムは好評でした。



◀ 田園調布学園
大学 教授
村井 祐一氏



総合司会の
木村 博子氏 ▶

第1部では、田園調布学園大学の村井教授を講師に迎え、「地域での支えあいを考えよう」をテーマに基調講演を実施。教授は、活動に取り組むことが目的ではなく、取り組むまでのプロセスや組織づくりが大切であり、住んでいる地域で取り組むことが大事であると力説されました。

第2部では、村井教授のコーディネートにより、会場の参加者が、地域の取組のノウハウを持ち帰られるように、地域活動での苦労した点や乗り越えた点を発表者から報告してもらいました。

パネルディスカッション (5つの地域の取組発表) と小学校児童による合唱

都筑こども・青少年育成計画の取組

中川西地区 元気づくり協議会 会長 内野昌平氏

牛久保公園プレイパークを年4回定期開催。毎回延500人以上の参加がある。成果としては、子どもだけでなく、大人たちの出会いや交流が新たな推進力を生み、地域に元気を与えている。



地域に元気を!

荏田南中学校区こども・青少年育成 支援のためのモデル事業協議会 事務局長 横手美枝子氏

地域で話し合いを重ね、中学生の企画からの参加と、年代別の行事や連合町内会の行事を中学校区という広い地域の取組に繋げた。そこで、「地域を知ろう!!学校めぐりウォーキング」を実施した。



ウォーキングを
実施しました!

地域福祉活動計画の取組

佐江戸加賀原地区 社会福祉協議会 事務局長 小川邦夫氏

日常生活でのちょこっとした困りごとを地域の中で解決する「ちょこっとボランティア」を立ち上げ、自治会町内会にアンケート調査を実施した。そこから、地域の課題を見つけ解決策を検討し、ボランティアアマニアル作成など実行可能な取組を進めた。



災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」の取組

都田連合町内会 都田地区社会福祉協議会 会長 長田富夫氏

体制づくりの準備委員会の立ち上げと4つの確認事項 (①災害時に強い地域づくり②要援護者の調査③各種団体と連携した体制づくり④福祉訪問員選出) を共有し事業をスタート。「つだそなえカード」、要援護者への防災用品の配布とマップ作成、福祉訪問員の選定を実施。



ふれあいの丘連合自治会 会長 井上晴彦氏

災害時要援護者支援事業の実施にあたり、支援事業検討委員会をスタート。大学と連携して「住民意識調査」を行い、住民の方の自治会に対する意識や地域課題を把握し、要援護者の訪問や防災訓練を実施。



防災訓練を
実施しました!

みんなで、
一生懸命歌いました!

川和東小学校児童による合唱



関係団体の紹介

てつなぎ つづき

～あなたも障害者と一緒に、てをつなぎませんか？～

「てつなぎつづき」は、区内の地域活動支援センターと地域作業所のネットワークです。区内20か所の福祉施設が加盟（平成24年4月現在）。情報交換や交流による「顔の見える関係づくり」を大切に、地域での支援をより豊かにしていくことを目指しています。

地域の皆さまに福祉施設や障害を知ってもらい、身近に感じてもらえるようにと、都筑区役所区民ホール（毎週月、火）、市営地下鉄センター南駅構内（毎週水、木、金）にて、各施設の自主製品を販売しています。直売している施設もありますので、気軽にお問合せください。

【お問合せ】

つづき地域活動ホームくさぶえ
（「てつなぎつづき」事務局）

TEL 045-590-5778

高齢・障害支援課障害支援担当

TEL 045-948-2316 FAX 045-948-2490



障害のある子どもたちの 豊かな明日のために！

～障害児地域訓練会～

都筑区には「とまとのおうち」、「バナナのおうち」、「はじめのいっぽ」の3つの障害児地域訓練会があり、発達に不安や心配を感じる子どもたちのため、母親らがボランティアや先輩ママの協力を得て、横浜市社会福祉協議会障害者支援センターの助成を受け自主運営で活動しています。

対象年齢や内容は訓練会ごとに異なりますが、地域活動ホームくさぶえ、あゆみ荘等で、体操・外遊び・音楽療法など、それぞれ親子で仲良く楽しく活動しています。

【お問合せ】

高齢・障害支援課
障害支援担当

TEL 045-948-2316

FAX 045-948-2490



お知らせ

センター北・南駅 周辺地区での バリアフリー化の 取組を進めています

都筑区では、区役所をはじめ多様な機能が集積したエリアであるセンター北・南駅周辺地区で、鉄道駅等の旅客施設や道路・公園等の公共施設、公共的な建築物等のバリアフリー化を推進するため、「バリアフリー基本構想」を平成22年5月に策定しました。

これを踏まえ、平成23年度にはセンター南駅前の歩行者空間の改修工事を行い、歩行者や車椅子、ベビーカー等がスムーズに通れるよう、路面の凸凹や沈下を改修したり、地区内に設置されている案内サインについての改善計画を策定しました。今後もバリアフリー化の取組を進めていきます。

【お問合せ】

区政推進課企画調整係 TEL 045-948-2225 FAX 045-948-2399

都筑土木事務所 TEL 045-942-0606 FAX 045-942-0809

あいちゃんボランティアに 登録しませんか？

都筑区では、ボランティア活動が活発に行われる風土づくりを目指して、「あいちゃんボランティア」登録制度を実施しています。今回、登録方法を新しくしました。多くの方のご登録をお待ちしています。

<新しくなった点>

- ①ボランティア活動の対象範囲を広げ、あらゆる分野のボランティア活動が登録できるようになりました。
- ②今まで個人登録のみでしたが、新たに団体登録もできるようになりました。

【お問合せ】

福祉保健課運営調整係

TEL 045-948-2341

FAX 045-948-2354



こどもの虐待防止

～守るのは気づいたあなたの その勇気～

「こどもへの虐待」と聞くと、「ひどい親だ」、「信じられない」と感じるかもしれませんが、こどもへの虐待の理由は様々で、とても複雑です。保護者（親）自身が子育てに悩んでいたりと、子育てをがんばりすぎてこどものこころや体を傷つけていることも少なくありません。

まわり（地域）の方へ

周りのちょっとした会話や笑顔、気づかいが、保護者（親）の気持ちを軽くしたり、ほっとさせたりすることもあります。

育児は一人ではできません。地域のこどもを気づかい、子育てを後押しする、そんな地域を広げましょう。

保護者（親）の方へ

こどもへの虐待は子育ての不安から始まるのがよくあります。そんなとき、一人で悩まないで気軽にご相談ください。

【お問合せ】

こども家庭支援課こども家庭支援担当 TEL 045-948-2318

地域ケアプラザの障害児・者支援の取組・事業紹介

① 中川地域ケアプラザ

みんなでアートしながら遊んじゃおう!

学齢期の親子を対象に、アートを通して地域の方々とのふれあいを目的として、ケアプラザに登録しているサークル「キャンバス」のご協力により、平成23年8月と11月に開催。ふわふわ粘土のマグネット作りやビー玉アート、大和染め、クリスマスリースや長靴の小物入れなどを親子で楽しく作りました。

平成24年度も夏と秋に開催予定です。詳細は後日ケアプラザ新聞・ホームページ等でご案内します。

【お問合せ】

中川地域ケアプラザ

TEL 045-500-9321

FAX 045-910-1513



② 東山田地域ケアプラザ

アフリカダンスを踊ろう!

東山田地域ケアプラザでは、月に1回アフリカダンスクラブを開催しています。先生の動きをまねて、本物のジャンベ(太鼓)にあわせて踊りましょう!親子の絆を深めるとともに、保護者又はご家族同士の交流にもご活用ください。

【日時】第4土曜 17:00~18:00

【場所】東山田地域ケアプラザ

【対象】自閉症・発達障害のある小学校高学年~20歳くらいまでの方とその保護者又はご家族

【費用】500円/回

【持ち物】タオル・飲み物

【服装】動きやすい服装

【お問合せ】

東山田地域ケアプラザ

TEL 045-592-5975

FAX 045-592-5913



③ 新栄地域ケアプラザ

手話講座“はじめの一步”

皆さんは耳の間聞こえない方や聞こえにくい方と、どのような方法でコミュニケーションをとっていますか?挨拶・声の掛け方などコミュニケーションの方法を、手話・指文字・伝言ゲームなどを行いながら楽しく覚えます。この講座では、耳の間聞こえない方や聞こえにくい方とコミュニケーションがとれるきっかけをつくります。

【日時】平成24年6月30日(土) 13:30~15:30

【場所】新栄地域ケアプラザ

【費用】無料 【募集人数】20名

【対象】小学4年生以上どなたでも

【持ち物】筆記用具・水分補給用の飲み物

お申し込みは電話または来所にてお願いします。

【お問合せ】

新栄地域ケアプラザ

TEL 045-592-5255 FAX 045-595-3321

④ 葛が谷地域ケアプラザ

くずがやゆめひろば&ハッピーアワー

①くずがやゆめひろば

小学生~高校生の障害のある方を対象に、ボランティアと一緒に楽しいイベントを行います!保護者の方と地域につながる工夫も有り♪平成24年度は7月と3月開催予定!

②ハッピーアワー

障害のある方が働いた後遊べる場として開催。第1金曜17:00~20:00、第3金曜18:30~20:00開催中!

①②共にボランティア募集中!!詳細はお問い合わせください。

【お問合せ】

葛が谷地域ケアプラザ

TEL 045-943-5951

FAX 045-943-5961



⑤ 加賀原地域ケアプラザ

べるえきつぷ ~障害児とその家族と共に余暇活動をしています~

「べるえきつぷ」は、学齢期で障害のある児童とその家族の余暇活動支援と家族同士のネットワーク作りを目的として、平成22年3月に発足しました。内容は参加される家族と共に考え、参加する子ども達が達成感の得られるものになっています。

①家族で楽しめるイベント(クッキングや工作等 年1回外出有)

【日時】第1日曜午前又は午後 2時間【会費】500円程度(1家族)【申込み】要

②太鼓の会 都田太鼓の方と一緒に和太鼓の練習

【日時】第3金曜 16:30~17:30【会費】100円(子供1人)

③美術教室 講師による絵・工作教室

【日時】第4日曜 小学生 10:30~12:00
中学生 13:00~15:00

【会費】500円+材料費【申込み】要

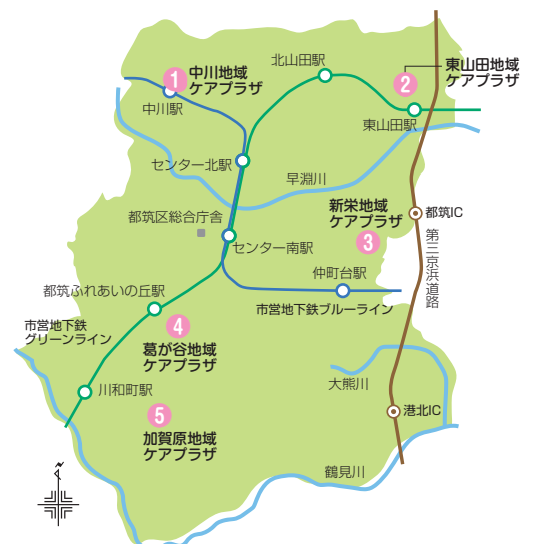
この他、青年期の方々のサークル「わくわく遊とも」も活動しています。

【お問合せ】

加賀原地域ケアプラザ TEL 045-944-4640 FAX 045-944-4642



【地域ケアプラザの地図】



※1

第2期都筑区地域福祉保健計画とは？

都筑区地域福祉保健計画は、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすことができることを目指しています。

区民、地域、団体、企業と都筑区役所等が、地域課題に対してともに取り組み、**人と人との「であい ささえあい わちあい」**の仕組みをつくり、行動していくための計画です。

平成18年に策定された第1期都筑区地域福祉保健計画(5か年計画)に引き続き、第2期都筑区地域福祉保健計画(平成23～27年度)を策定し、推進しています。

基本理念 人と人との「であい ささえあい わちあい」

構成

連合町内会自治会エリアごとに地域の行動目標を定めた「地区別計画」とともに、都筑区役所・区社会福祉協議会の行動計画、地域ケアプラザの行動計画で構成されています。

「第2期都筑区地域福祉保健計画」の取組の方向性

方向性1

顔の見える地域づくりを進めます

地域での「つながり」を大切に、地域住民をはじめ、地域の様々な主体が、連携・協働し、地域課題の解決に取り組んでいけるよう顔の見える地域づくりを進めます。

方向性2

幅広い区民参加で活動や取組の輪を広げます

地域の課題解決に向けた主体的な取組を区全体に広げていくとともに、ボランティアニーズへ対応していけるよう、幅広い区民参加により、活動の輪を広げます。

方向性3

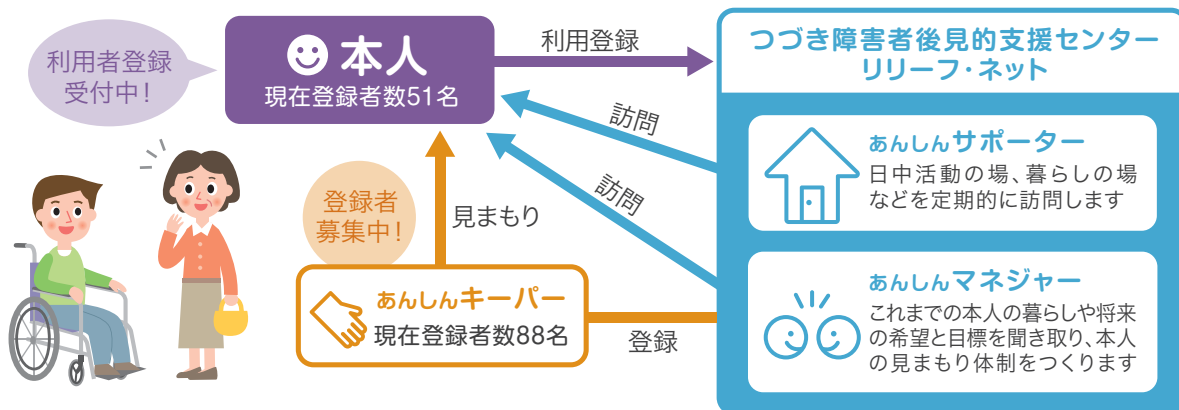
必要な人に支援が届く仕組みづくりや取組を進めます

支援が必要な人の把握や、情報提供のあり方等について検討を行い、誰もが支援を受けられるような仕組みづくりや取組を進めます。

※2

横浜市障害者後見的支援制度とは？ ～将来にわたるあんしん施策～

障害のある人を支援している人や地域住民の方などが、障害のある人とそのご家族の日常生活を見守り、将来の希望や漠然とした不安などの相談をお受けしたり、その人の願う地域での暮らしが実現できる方法を一緒に考えたりする、「住みなれた地域で、安心して暮らすことを願う障害のある人とそのご家族の思いを支援する制度」です。



あなたもあんしんキーパーになってみませんか!

- ・制度に登録した人を日々の生活の中で気にかけて、日常生活を見守ります。
- ・本人に何か困ったことがあった時に、あんしんマネジャーに連絡する手伝いをします。

お気軽に、お問合せ、ご相談ください。

【お問合せ】(福)同愛会 つづき障害者後見的支援センター リリーフ・ネット TEL045-482-4871 FAX045-482-4872